

10月7日

コロナ禍のエアコン問題
教育長「調査する」と答弁
教育委員会審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

10月初旬に小学校と中学校で感染者が確認されましたが、クラスターの発生を抑えこむことができました。これは国の基準以上に健康観察対象者までPCR検査を広げた成果です。味口議員は、保護者や児童の不安に応え、PCR検査をクラス

最近、放課後デイサービス事業所など障がい者施設での虐待や、特別養護老人ホームで利用者への虐待や不適切なケアがおこなわれていたことが明るみにでました。松本議員は「利用者の人権を無視した施設をこれ以上出さないために施設が独自に職員研修をおこなうことはもちろんですが、問題をみつけられなかった市の監査の在り方や改善するところなども含め、検討すべき」と質問。神戸市は「厚生労働省の通知の6年に1度より頻度を増やし3年に1度行っている」「効果的な監査の在り方を検討する」と述べるのみで、積極的な対応は示しませんでした。松本議員は「自己評価結果のチェ

10月8日

市バス路線を縮小する
計画はやめよ
交通局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

決算特別委員会審査から③

1. 新型コロナウイルス感染症発生時における学校園での対応について
2. 少人数学級の実現について
3. 学校園における空調整備について
4. 中学校給食の改善について

質疑項目

だけでなく、学年・学校全体に広げること提起すると、教育委員会側も保護者や生徒の不安が大きいことを認め「健康局に強く要望する」と答弁。また、学校での「3密」回避の点で、換気をしながらのエアコンの問題は、大きな課題となっています。味口議員は、冬場の空調の整備、特に中学校体育館の部分空調について、現場の声をもとに改善を要求しました。

答弁ダイジェスト

長田教育長：(整備していく)決意はしている。予算は市長の判断になるが、私

1. 高齢者、障がい者施設などの監査について
2. 引きこもり対策について
3. 敬老福祉優待制度の改悪について

質疑項目

ック項目はハイとかイエエしかない。ロールプレイをしてもらおうとか、コミュニケーションのとり方などの項目を入れ、施設の状況を把握すべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

赤坂監査指導部長：項目的に個別のケアまで入れるのは難しい。年に1回以上、集団指導や研修をおこなっている。

松本議員：研修をしても虐待をしている施設もある。その点をどう考えるか、もっとさらに分かる項目を入れるべき。また、(事業所に)外部の目、地域の目を入れるような検討はしていないのか。

1. 市営交通次期経営計画の策定について
2. 市バス営業所の委託拡大はやめよ
3. 市バス運転士の人材確保と育成支援を
4. 市バス乗継割引を民間バスにも適用を

質疑項目

神戸市は今後5年間の経営方針及び具体的な戦略である「神戸市営交通次期経営計画」を来年度策定します。現在開催されている交通事業審議会や有識者会議では、「民間活力やコスト削減などあらゆる努力をする」との方向性が示されて

どもの立場をしっかりと主張していく。

味口議員：いくつかの学校から「全く役に立たない」という声があがっている。部分空調では、部活動でも避難所のあり方としても実態に合ったものではない。一度立ち止まって精査していただきたい。

長田教育長：そういう声があることを初めて聞いた。現場の話を聞いて調査する必要がある。

味口議員：withコロナの時に、部分空調で換気に耐え得るものなのかをよく考えて検討すべきだ。

10月7日

虐待の連鎖を公の役割でとめよ
「人権を守るため、神戸市として
知恵と力を出し切って」
福祉局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

赤坂監査指導部長：現状、一番身近な従業者の速やかな通報が最も大切かなと思う。今後、どういうことが出来るかは考えていきたいと思う。

松本議員：個人に任せるのは違う。監査がある以上、神戸市が公の役割としてしっかり対応すべき。その為には監査の正規職員の雇用ふやすべきだ。

います。新型コロナウイルスの感染が市民の暮らしや生業に深刻な影響を与えている今、公共交通の役割は大変重要になっています。朝倉議員は、市バスの減便や路線の短絡で不便になり困っているという利用者の声を紹介、「不便になればますます乗らなくなり悪循環だ。既存の市バス路線を縮小するような計画はやめるべき」と質しました。

(2面につづく)

また、データ予測だけでニーズをつかむのではなく、どんな路線なら乗ってもらえるのか、住民への説明会や意見交換の場をつくり丁寧に住民の声を聞いて進めるよう求めました。

答弁ダイジェスト

岸田局長：近年の人口減少、少子高齢

豪雨災害などが神戸をはじめ各地で多発しており、気候変動がもたらす影響は、年々深刻さを増しています。地球温暖化防止対策は待たなしの課題であり、今や世界的な要請です。2050年に温室効果ガス実質ゼロを掲げる自治体は9月現在で22都道府県、6政令市など全部で156自治体に。山本議員は世界からの要請にこたえるために「神戸市の温室効果ガスの削減目標を大幅に引き上げるべきではないか」と質しました。

答弁ダイジェスト

福本局長：神戸はクールチョイス（温暖化対策）推進宣言をうちだしている。

10月9日

現場の声聞き保育士の 処遇改善と人員配置を こども家庭局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

目の前のコロナ危機を打開し、より良い未来を切り開くためにも、保育を担う働き手の処遇改善が求められています。国の保育単価が低いことが問題ですが、

最近の新型コロナウイルス感染症、また気候変動の影響もある新しい時代において、消防力の充実・強化はいままで以上に重要な課題です。神戸市消防局では基本計画「神戸消防グランドデザイン2025」で将来像を定め日頃活動を行っています。森本議員は、常日頃から国の整備指針の100%達成を目指してほしいと求めています。指針によると、令和2年、職員数、団員数、消防署所、ポンプ車、救急車について充足率が達成しておらず、森本議員は「来年が5年間のアクションプラン作成の最終年になる消防

化、バス運転手不足等々、地域交通の社会環境は厳しさを増している。地域交通の維持・充実をはかるためには多様な移動手段を適切に組み合わせることが必要である。採算性、効率性を全く考慮しないというのは事業としての持続可能な観点から難しい。

朝倉議員：乗客数が少ない路線はバス

質疑項目

1. マイクロプラスチック対策としてのプラごみ削減について
2. 地球温暖化防止対策について
3. メガソーラーにたいする規制強化を

趣旨としては他都市での宣言と内容的には同じと思っている。わかりやすいメニューを着実に取り組んでいく。

山本議員：できることからは大事だが、2050年に向けた市の事業における再生可能エネルギーの導入計画も策定して推進し、市の積極的役割をはたすべきだ。温室効果ガス排出量の半分近くが産業部門。ここに対する取り組みが必要では。

福本局長：事業者の創意工夫をヒアリングするなど、新たな事例を他の事業者を紹介するなど推進していきたい。

1. 保育所における新型コロナウイルス対策について
2. 母子家庭の福祉パスについて
3. こども医療費助成の拡大について
4. 待機児童対策、認可保育所の整備について

質疑項目

国への働きかけと同時に、市としての姿勢が問われています。また、コロナ感染予防のため、施設の清掃や消毒などの作業に時間が割かれ、保育士の大きな負担となっています。今井議員は、安定して保育士の確保ができるよう、他業種との賃金格差の改善と新たな人員の配置を求めました。

答弁ダイジェスト

高田副局長：現場の保育士さんには大変ご苦労いただいていると認識をしてい

質疑項目

1. 消防力の整備方針について
2. コロナウイルス対策について
3. 災害対応について

は、人が大きな力を発揮する。余裕を持ってないと駄目だ」と体制の充実をもとめました。

答弁ダイジェスト

長岡消防局長：消防職員は着実に増えている。地域防災力の要である消防団、そして防災福祉コミュニティ、事業者などの地域

を小型に変えるだけでなく、民間や地域主体で運行させるようなやり方は行政の責任を転嫁するものだ。市として繰り入れをさらに増やして公共交通を維持すべき。

10月8日

気候変動対策、神戸市として 積極的な姿勢をしめせ 環境局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

山本議員：事業者に参加してもらい納得して取り組めるよう、議論にまき込んでいくことが重要だ。また、環境保全協定を改定し、温室効果ガスの削減目標を引き上げるよう求めよ。

る。市独自の処遇改善や一時金の給付等の施策を実施してきたが、本来国の責任でおこなわれるべきものなので、引き続き国に要望をしていく。

今井議員：厚生労働省の調査を見ると保育士の離職は全国で約10%にもなっている。59%もの保育士が賃金の改善を求めている。これからも安定的に、またベテランの職員を確保していくためには、引き続き処遇改善に努めていただきたい。

10月9日

安全で安心な神戸の まちを支える消防体制の より一層の充実を!! 危機管理室・消防局審査で森本議員



質問する森本真議員

防災力の充実・強化も図った上で人員の整備を併せて進めていきたい。

森本議員：(指針の達成率) 100%を超えるように努力していただきたい。